

倫理審査委員会議事要旨

日時： 令和元年 7 月 26 日(金) 13:30～16:00
場所： 小会議室
出席者： 委員長;副院長
委員;事務部長、看護部長、薬剤科長
外部委員;長島伸一(外部委員;長野大学名誉教授)
書記;庶務班長
※ 当該委員会規程第 7 条に基づき今委員会は成立する。

【議事要旨】

1. (受付番号;1-1)精神科訪問看護の取り組みと効果 ～訪問看護による患者の生活自立能力の比較～ 申請者 外来看護師 袴田 多佳子

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。
申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員長 ;本研究を通し被験者の“変化・改善”を観察する趣旨と思われるが、その変化等と訪

問看護との因果関係をどう把握するのか。

申請者 ;被験者へのアンケートにおいて、訪問看護に対する満足度を調査する項目を設定している。

委員長 ;同意を取れる対象者は、一般的には訪問看護に好意的な方が多いと思われるが、何らかのバイアスがかかる恐れはないか。

申請者 ;今回研究の対象者は、訪問看護受療 2 年以内の方を対象と考えているが、その程度であればバイアスにかかる恐れは少ないと思われる。

委員 ;効果判定にあたり、添付の尺度手法をどのように使用・測定するのか。

申請者 ;アンケート及びインタビューの結果を、精神障害者社会生活評価尺度 LASMI に落と

し込み評価を経てレーダーチャートを作成する、その工程を期間中毎月 1 回以上繰返しその変化を評価するものである。

委員 ;今回の研究期間は約 3 ヶ月程度であり短くはないのか、延長又は来年へ継続する

ことも考えたら如何か。

委員長 ;同感である、来年継続する場合は申請書中の二次利用に係る文言も見直す必要がある。

申請者 ;検討します。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○研究期間について、来年度以降も継続し実施するよう検討のこと。

またその場合にあつては、二次利用予定について申請書文言訂正のこと。

2. (受付番号;1-2)精神科看護師が認識する退院支援に必要な看護実践

～新人と熟練者の違い～

申請者 1病棟看護師 中沢 直人

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員 ;研究計画書記載の、「師長を除く患者を受持ち退院支援を行っている者」、「経験年

数4年まで」、及び「10年以上の者」、それぞれ何人か。

申請者 ;順に、21名、2名、4名である。

委員 ;サンプル数として少ない(経験年数4年まで2名、10年以上の者4名)のではない
か、この数を見る限りサンプルは第1病棟に限定するということか。

申請者 ;そうです。

委員長 ;当該病棟のみを対象とするなら、サンプル数の増も勘案し中間層も対象とした三
層

の違いを探るのも興味深い研究になると思うが如何か。

申請者 ;今回はあくまで質的研究としてインタビューもより詳しく実施する予定であり、また、
先行研究でも新人、熟練層の各々単体を対象とした研究はあったが両方を対象と
した研究はなく、その意味でも本研究は意義深いものと考えている。

◎審査結果 承認とする。(出席委員全員了承)

3. (受付番号;1-3)統合失調症の長期入院患者が退院に至った要因

～インタビューから振り返る看護の役割～

申請者 2下病棟看護師 小林 健太郎

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員 ;昨年度全長期入院患者退院数16名から対象者3名に絞った理由は?

申請者 ;対象者が統合失調症であり、意思疎通が可能であること等の理由による。

委員 ;同意取得、インタビューはどのように行うのか。

申請者 ;被験者が外来受診等により来院された場合はその際に、そうでない場合はこちら
か

ら伺うこととしている。

委員長 ;インタビューガイドの中に、地域生活を維持する上での工夫点、重要視している点
な

どの項目を入れたら如何か。

申請者 ;検討する。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○インタビューガイドの中に、地域生活を維持する上での工夫点、重要視して
いる点などの項目を入れるよう検討のこと。

4. (受付番号;1-4)新人看護師の離職をしようと思いつ要因及び、離職を踏みとどまった要因

～精神科に勤務する新人看護師へのインタビューを通して～

申請者 3病棟看護師 杉村 天祐

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員長 ;申請書中、「一般科における看護師早期離職の課題」とあるが、具体的には何か。

申請者 :技術未熟さへの劣等感、仕事への喪失感などが指摘されている。

委員 ;対象者は何名いるのか。

申請者 ;精神科病棟(1、2、3病棟)2年目看護師である3名とする。

委員 ;なぜ2年目なのか。

申請者 ;看護学では、2年目までを新人と定義するのが定説である。

委員長 ;サンプル数が少ないため、センシティブな情報が保護されない恐れがある。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○2年目に加え3年目看護師も併せ実施し、6病棟も対象とすること。

5. (受付番号;1-5)重症心身障害児(者)に対して感じる印象の変化と変化のきっかけ

申請者 7東病棟看護師 池田 敦子

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員 ;アンケート配布対象の職種は何か。

申請者 ;看護師等、リハビリテーション部門、指導室を考えている。

委員 ;アンケートの記載方法は？

申請者 ;無記名、自由記載とします。

委員長 ;職種は聞かないのか。

申請者 ;記載者本人が特定されないよう、聞かないものとしている。

委員 ;そもそも無記名で提出されるのだから、アンケート依頼文書中、2.「不参加の場合で

も不利益は被らない・・・」、「投函がなければ不参加・・・」、3.「プライバシーは厳守・・・」、「匿名性を守ります」等の文言は不要ではないか。

申請者 :削除します。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○アンケート依頼文書中の指摘した文言を削除すること。

6. (受付番号;1-6)睡眠障害を持つ重症心身障がい児者への関わり

～日光浴や昼間の刺激を取り入れ、睡眠障害の軽減を図り生活リズムを整える～

申請者 7西病棟看護師 高野 瑞希

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員長 ;被験者を睡眠パターン毎に分類するとのことであるが、日によって睡眠パターン、入

眠時間など変化するのではないか？

その場合の、調整方法・ルールなど決めているか。

申請者 ;今後研究開始までに整理する。

委員 ;対象者への説明はどのように行うのか。

申請者 ;家族の来院時等に面談のうえ大まかな説明をし、その後詳細な説明文書を添付し同意書を郵送することとしている。

委員 ;同意撤回は誰が行うのか。

申請者 ;家族が行うこととなる。

委員長 ;そのためには、家族への定期的な報告が必要である。

委員 ;今回の場合、本人と同意者(家族)が異なるため、同意書、及び撤回書中の「本人、私」が誰を指しているか分かりづらい。

申請者 ;「同意者」に統一し、訂正します。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○家族への定期的な報告(月1回程度)を実施すること。

○同意書、同意撤回書における指摘した部分について文言を訂正すること。

7. (受付番号;1-7)対象者の暴言・暴力が及ぼす医療観察法病棟看護師の思い

～有効なサポートについて考える～

申請者 8病棟看護師 石井 綾子

委員長 :議題について、説明をお願いいたします。

申請者 :別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員長 ;他院等において、先行研究などないのか。

申請者 ;調べておりません。

委員長 ;調査のうえ、他院との比較等をした方がよい。

また、現在サポートシステムはないのか。

申請者 ;システムはあるが、十分機能していない状態である。

委員 ;サポート以外にも、被験者がそのような場面でどう気持ちを切り替えたかという点もインタビューに加えたら如何か。

申請者 ;そのようにいたします。

◎審査結果 承認とする。(出席委員全員了承)

8. (受付番号;1-8) Fish哲学の導入における職員の活性化の検証

申請者 6病棟看護師 丸山 千衣

委員長 : 議題について、説明をお願いいたします。

申請者 : 別紙審査申請書、研究計画書により説明。

委員 : この研究の参加者は全員 FISH 活動を行うのか。

申請者 : そうです。

委員 : 具体的に何をするのは、いつ・どう決めるのか。

申請者 : 事前アンケート、勉強会を経て最終決定する。

委員 : 課題名に「認知症病棟における・・・」を入れたら如何か。

申請者 : 訂正します。

◎審査結果 下記の条件を付し、承認とする。(出席委員全員了承)

○課題名に「認知症病棟における・・・」を追加すること。